

山口県東部の山間部に、「食の総合プロデュース」を標榜して急成長している企業がある。アデリー（柳井市）はスイーツを核とするオリジナル商品の企画・製造というビジネスモデルを案出し、この5年で売上高が5割増え、50億円を超えた。さらに新規投資により、100億円を目指す計画を固めつつある。

スイーツ 企画で味付け

デザインから納入まで



【会社概要】
 ▼住所 山口県柳井市柳井11171の1
 ▼創業 1973年
 ▼社長 小野典子氏
 ▼売上高 53億円（2018年2月期）
 ▼従業員 230人
 ▼特徴 贈答・販促・カタログ販売向けの食品セットを企画して製造販売する。既存の商品調達から開発まで手掛ける



東急ハンズ池袋店の催事。商品の企画などを担当したアデリーのブースの様子が写っています。

「特別」で成長
 製造はどの工場に発注するか、キャラクターを使うなら著作権は、パッケージのデザインはどうか、袋詰めはどこでするか、袋詰めはどの工程でやるか、などの煩雑な工程を丸ごと受注する。展覧会や企業の限定品、TV番組の連動商品などに始まり、カタログ販売の季節・限定商品の企画などに取り組む。「量産品ではなく、特別な場面での特別な商品が求められている」（小野社長）

25年前の小野社長の入社時から卸売業も始めた。企業向けの中元歳暮向け、出産や結婚など慶事の祝い品に強く、いまは、このモデルを食品全般に広げること、企画

ンリオ、迎賓館など多岐にわたる。中身は特注の焼き菓子や、パッケージに社名やイベント名、キャラクターをあしらったものだ。「自社のビジネスを説明するときにいつも困る。色々考えてみたが」と苦笑するのは、5年前に就任した小野典子社長（46）だ。

例えば、羽田空港のコンビニ「エアロソーン」でオリジナルのスイーツを売ろうという企画があったとする。アデリーはそこで売れる商品の企画、製造、パッケージデザイン、梱包、納入までを請け負う。

「特別」で成長
 製造はどの工場に発注するか、キャラクターを使うなら著作権は、パッケージのデザインはどうか、袋詰めはどこでするか、袋詰めはどの工程でやるか、などの煩雑な工程を丸ごと受注する。展覧会や企業の限定品、TV番組の連動商品などに始まり、カタログ販売の季節・限定商品の企画などに取り組む。「量産品ではなく、特別な場面での特別な商品が求められている」（小野社長）

25年前の小野社長の入社時から卸売業も始めた。企業向けの中元歳暮向け、出産や結婚など慶事の祝い品に強く、いまは、このモデルを食品全般に広げること、企画